

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

担当課

下水道建設課

実施方針	I 快適な生活環境の実現	施策目標	1 生活環境の改善や河川の水質保全に努めます	施策	① 計画的な下水道(汚水)整備の推進
------	--------------	------	------------------------	----	--------------------

2 事業評価の概要

視点	内容								
何のために【施策目標】	生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。								
どんな問題を解決するか【施策】	下水道(汚水)の整備が進んでいない地域については、既に整備している地域と早期に均衡が図れるよう整備を進めるとともに、土地区画整理事業などが計画・実施されている地域では、街路整備の進捗に合わせて整備を行うほか、一定の条件を満たす場合には、先行して整備を進めます。								
どのような道筋で【目標】(単年度)	①下水道(汚水)の整備が進んでいない地域及び土地区画整理事業地区等に汚水管を13.8km整備します。 ②土地区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的な工事を執行します。 ③工事施工にあたり、他事業者と工事時期や施工方法等の調整を図り、市民への配慮、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認します。								
期間	平成31年4月	～	令和2年3月						
いくらかけて【予算額・決算額】	予算額				決算額			執行率	
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%	
	事業費計	2,238,150	0	2,238,150	1,946,863	0	1,946,863	87%	
	工事費	1,914,449		1,914,449	1,724,198		1,724,198	90%	
	原材料費	0			0				
	委託料	217,151		217,151	192,195		192,195	89%	
	賃借料	183		183	0			0%	
	その他	106,367		106,367	30,470		30,470	29%	
人件費	73,075		73,075	73,075		73,075	100%		
どういふ成果を達成するか【成果指標】	①下水道(汚水)の整備が進んでいない地域に汚水管を13.8km整備された状態。 ②土地区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的な工事を執行できた状態。 ③工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等が発生せず工事を執行している状態。								

3 プロセス結果の検証

評点	視点	内容					
中間評価 □	上半期何をどのように執行したか【現状把握】	①下水道(汚水)の整備が進んでいない地域に汚水管を11.1km整備中である。 ②土地区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的な工事を遂行した。 ③工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等が発生せず工事を遂行した。					
74点	下半期改善すべき点は何か【改善目標】	適切な執行を行えるよう、施工業者や関係機関等と協議・調整を行い、計画通りに工事が執行できるように努めるとともに、市民への配慮、交通渋滞、事故等がないように、より一層努める。					
	どのくらい進んだか【進捗度】	執行(契約)事業費	1,724,026千円	事業進捗度	自己評価	B 予定通りの成果を上げた	
		予算執行率	77%		評価者結果	B 予定通りの成果を上げた	
終了時評価	どういふ成果を達成したか【達成状況】	①下水道(汚水)の整備が進んでいない地域の汚水管整備を、土地区画整理事業の進捗等により、11.3km実施した。 ②工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等が発生せず工事を執行した。					
76点	次年度に解決すべき点は何か【次年度解決策】	適切な執行が行えるよう、土地区画整理事業施行者等と協議・調整を行い、計画通りに工事が執行できるよう努める。					

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視点	項目	評点	5 常に全員	4 概ね多数	3 一部	2 あまり~ない	1 ほとんど~ない	中間	終了	
人員	意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						4	4	
	適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						4	4	
中間	16	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						4	4
終了	16	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						4	4
手段	手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						4	4	
	可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						4	4	
中間	16	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						4	4
終了	16	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						4	4
工程	進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						3	3	
	合目的性	下水道使用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						4	4	
中間	14	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						3	3
終了	14	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						4	4
予算	利益	上下水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか？						4	4	
	効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか？						4	4	
中間	15	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか？						4	4
終了	15	成果	成果指標を上まわっていますか？						3	3
期間	タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						3	4	
	タイムコスト	時間=コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						4	4	
中間	13	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						3	4
終了	15	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						3	3

5 事後評価

指標					R1	R2	R3	
指標名	下水道処理人口普及率	単位	%	目標値	87.6	88.0	88.4	
算出式・根拠	(下水道処理区域内人口/行政人口)×100			実績値	87.6			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。)	評価者結果	
A=予定以上の成果を上げた / B=予定通りの成果を上げた / C=成果は出ているが予定に達していない D=結果は出ているが成果は出していない / E=不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない				
達成度	B	下水道(汚水)の整備が進んでいない地域に汚水管を整備し、目標としていた下水道処理人口普及率(87.6%)を達成した。	B	
効率性	B	道路工事等の重複している箇所について、工事時期や本復旧の方法を担当課と協議・調整し、効率的に工事を行った。また、架空線移設や他企業管の移設等を事前に実施することで、遅滞なく工事を実施した。	B	
有効性	B	下水道(汚水)の整備が進んでいない地域において下水道(汚水)の整備を行うことで、生活環境の改善や河川などの水質を保全することに貢献した。	B	
説明責任	B	工事着手約1カ月前に、地域住民や町会長等に直接伺い、工事時期、迂回路、通行止め箇所等工事内容について詳細に事前調整を行い、工事への理解を得るようにした。	B	
組織学習	B	設計基準等を整理し共有することで課内で設計指針を確立し、設計委託業者に一貫した指導を行うことができた。また、下水道展や新工法の研修等に積極的に参加することで、知識の向上を図った。	B	
総合評価	B	・下水道(汚水)の整備が進んでいない地域に汚水管を整備し、目標としていた下水道処理人口普及率(87.6%)を達成した。 ・工事調整等により効率的に工事を実施し、地域住民等から工事への理解を得ることで、工期内に苦情なく工事を完了させた。	次年度方針 現状維持で継続	B